



Ryugasaki Saiseikai Hospital

# 消化器内科

Gastroenterology & Hepatology

龍ヶ崎済生会病院 消化器内科

えびはら つぎお  
海老原 次男

## < 学歴 >

1981年 3月 筑波大学医学専門学群卒業  
1991年 6月 筑波大学大学院医学研究科  
卒業、医学博士

## < 職歴 >

1981年 6月 筑波大学附属病院内科医員  
(研修医)  
1984年 9月 筑波学園病院消化器内科医員  
1985年 9月 公立昭和病院消化器内科医員  
1986年 7月 筑波大学附属病院内科医員  
1991年 6月 つくば双愛病院消化器内科部長  
1995年 7月 つくば双愛病院副院長  
2001年 12月 龍ヶ崎済生会病院副院長  
2012年 4月 筑波大学附属病院臨床教授 (病院)  
2014年 4月 龍ヶ崎済生会病院院長補佐  
2016年 4月 龍ヶ崎済生会病院院長

## < 資格 >

日本内科学会認定内科専門医  
日本消化器病学会専門医  
日本消化器内視鏡学会指導医  
日本消化器がん検診学会指導医  
日本人間ドック学会認定医  
日本医師会認定産業医

## < その他 >

茨城県医師会副会長  
日本医師会代議員  
龍ヶ崎市・牛久市医師会理事  
筑波大学医学同窓会 (桐医会) 副会長  
1991年度 日本消化器病学会奨励賞受賞

## < 所属学会 >

日本内科学会  
日本消化器病学会  
日本消化器内視鏡学会  
日本消化器がん検診学会  
日本肝臓学会  
日本胆道学会  
日本癌学会  
日本感染症学会  
日本環境感染学会  
日本プライマリケア学会

## < ご挨拶 >

他の医療分野でも同様ですが、最近の消化器病学の進歩には目を瞠るものがあります。1つ目は感染症としての消化器疾患で、代表的なものは多くの消化管疾患に関与するヘリコバクター・ピロリの診断と除菌、肝炎ウイルスに対するインターフェロンなどの抗ウイルス療法です。2つ目は診断法の進歩で、ドップラーエコー、ヘリカルCT、MRI、超音波内視鏡や拡大内視鏡などがあります。3つ目は治療法の進歩です。外科系ではすでに腹部を大きく切開しなくとも手術できる、腹腔鏡下手術が進んでいます。内科系でも内視鏡的止血法、減黄法、早期胃癌・大腸癌の粘膜切除や、高周波通電に代わるアルゴンプラズマ凝固法、肝癌に対するラジオ波治療も急速に普及されています。これらはいずれも当院で行っています。

最近では、このような新しい機器や診断治療法の情報もインターネットなどにより、またたくまに流布されます。そして、現代の医療に共通しているのは、疾患ごとの診断や治療が大多数の患者様に一定の質で提供できる「医療の標準化」です。さらに一方では高齢化と医療の進歩により、重度あるいは多くの疾患を合併した患者様が増加しており、また患者様自身の自己選択権も重視されるようになっていきます。従って「医療の個別化」も求められているのです。

我々は、この医療の標準化と個別化という2つの流れの中で、一人一人の患者様にあった診療を心がけ、また近隣の医療・福祉・介護に関係する方々との協調をはかることにより、地域医療への支援と貢献をはかりたいと考えております。